

令和元年東日本台風(台風第19号)を 忘れないで

芽吹大橋

坂東市

野田市

普段の様子

芽吹大橋

坂東市

野田市

令和元年10月13日

写真提供: 利根川上流河川事務所

令和元年東日本台風(台風第19号)は、関東甲信地方や東北地方で記録的な大雨となり、各地に甚大な被害をもたらしました。本市にも大雨特別警報が発表され、避難勧告等の発令をしました。

近年、災害が激甚、大規模化するだけでなく、線状降水帯などにより突発的に起こる

場合も多くなってきました。過去に、いつ、どこで、どのような災害が発生したのかを知ることが、災害に備えるために有効です(参考: 本市と全国の観測史上1位の降水量を掲載しています)。

令和元年東日本台風から3年が経過する今、改めて災害と防災について考えてみましょう。

坂東市の降水量(mm) 観測史上1位

1時間 83.0mm

(令和元年9月10日)

1日 197.5mm

(令和元年10月12日)

▶ 令和元年東日本台風

※気象台のホームページ過去の気象データより引用
令和4年8月10日現在

全国の降水量(mm) 観測史上1位

1時間 153mm

●千葉県香取地点
(平成11年10月27日)

●長崎県長浦岳地点
(昭和57年7月23日)

1日 922.5mm

●神奈川県箱根地点
(令和元年10月12日)

▶ 令和元年東日本台風

2022年は、利根川決壊
カスリーン台風から75年
～ 利根川のリスクを忘れない ～

利根川上流河川事務所
ホームページ特設ページ



カスリーン台風とは、昭和22年9月15日房総半島南端を通過し、関東・東北地方に多くの被害をもたらしました。

利根川では、今の埼玉県加須市と坂東市(旧中川村)で堤防が決壊し、最高水位は5.5mに達し、湛水期間は1か月にも及びました。